



【あなたの声を聞かせて】～特別支援学校より～



「地域とつながる人道橋」と連なる「喫茶サービス実習室」

県教育委員会は、本校を設置するにあたり「街中に設置された学校として、地域の社会資源等を活用しながら教育活動の充実を図ることや小中高一貫した教育を行い、障害に配慮した教育の充実を図ること、

障害のない児童生徒との交流及び共同学習の充実を図る学校を指すこと。特別支援教育のセンター的機能を発揮すること、そして、卒業後の社会参加自立に向け、生活指導の充実を図ること」という基本構想を掲げました。

これらの構想を基に、本校の基本設計がなされ、県内特別支援学校の良いところをたくさん集め、配慮の行き届いた校舎が完成しました。

そして、令和四年四月七日に児童生徒、多くの保護者、那覇・豊見城両市長、地域自治会の皆様にも御参加いただき本校自慢の広い体育館で開校式を挙行しました。

開校当初は、島尻、大平、西崎、鏡が丘、那覇の五校からの一斉転学等、職員も一斉転勤してきたこともあり、何もかもが新しいことの連続。二か月たち、ようやく、児童生徒も職員も学校になじんできました。

五月末にはプール開きをおこな

い、室内温水プールでの学習が開始。荒天時でも、実施できることが最大の利点です。

また、六月からは、漫湖公園、湿地センター、県立博物館、県立図書館などに出かけ、地域を学ぶ校外学習も始まりました。

高等部では、生徒全員が学校近隣の一般企業、事業所等、校内で卒業後の「働く」や「生活」を見据えた実習を行い、無事終了しました。

本校の校訓は「おもい」は「みらい」を「ひらく」です。

児童生徒一人一人が考えたり、伝えたり、選ぶなどの「おもい」をもち、今日よりは明日、将来を見据え、「みらい」に向かい、「扉を開く」「未来を拓く」「理解を啓く」ことを進めていくという意味を込めて「ひらく」という表現となりました。

これからも地域や社会に開かれた「つながる」学校を目指して取り組んでいこうと考えています。

今後ともご支援をお願い致します。



校訓 モニュメント



広くて快適な体育館



温水プール

手をつなぐ・うちな〜

知的な障がいのある人と共に

県育成会のHPにもカラーで掲載中♪

発行所
 沖縄県手をつなぐ育成会
 那覇市首里石嶺町4-373-1
 沖縄県総合福祉センター内
 TEL 098 - 882 -5727
 FAX 098 - 882 -5720
 E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
 HP : http://www.oki-iku.com/
 発行人 理事長 田中 寛
 定価 50円 (会費に含む)

【目次】

- P 1 あなたの声を聞かせて (令和4年度第2回)
- P 2 心の輪を広げる作文・障害者週間ポスターの募集
- P 3 販売のご案内・理事通信
- P 4 県育成会予定・ゆんたく広場他

ー那覇みらい支援学校が開校しました。数多くの御支援に感謝ー

沖縄県立那覇みらい支援学校 校長 新垣 ゆかり



心の輪を広げる体験作文・ポスターを募集しています!!

心の輪を広げる体験作文

★募集テーマ

「出会い、ふれあい、心の輪—障害のある人とないない人との心のふれあい体験を広げよう—」

★応募資格

・小(小学部)・中(中学部)・高校(高等部)・一般

★募集方法

- ①作文の題は自由とし、内容は、障害のある人ない人との心のふれあい体験。未発表のもの1編に限る。
- ②募集先：沖縄県手をつなぐ育成会(下記参照)
- ③制限字数
 - 1.小学生区分・中学生区分→400字詰め原稿用紙2〜4枚程度
 - 2.高校生・一般区分→400字詰め原稿用紙4〜6枚程度
 - 3.原則として400字詰め原稿用紙(B4判またはA4判縦書き)を使用。
- ④パソコン等の電子機器による作成も可とする。用紙は③に準ずるものとする。手書きの作品は写し(コピー等)の提出は認めません。

障害者週間ポスター

★募集テーマ

「障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現」

★応募資格

小学生(小学部)及び中学生(中学部)

★募集方法

- ①内容：障害者に対する理解の促進等に資し、障害のある人とないない人の間の相互理解を促進するもの。
※未発表のもの1点に限り、作品中に標語その他文字を入れない。
- ②規格・画材等
 - 1.画用紙B3判(横364mm×縦515mm)又は四つ切り(横382mm×縦542mm)を使用し、これに満たない作品は、B3判の台紙に貼付。作品は縦位置(縦長)のみ。
 - 2.彩色画材は自由とする。



募集期間は
9月2日(金)まで!!

♪作文・ポスター共に、入賞者へ賞状と副賞が贈られる予定です。※昨年の副賞は図書カードでした♪

【作文・ポスター共通条件】

★募集期間：令和4年7月1日(金)〜9月2日(金)

★応募者の属性等に関する参考資料(ポスター含む)：題・住所・氏名(ふりがな)・年齢(生年月日)・性別・職業又は学校名(学年)・電話・FAX・障害の有無

★応募する際には、応募用紙に記入し、作品に添付して下さい。

※注意：①「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間ポスター」作成にあたり、第三者が知的財産権を保有する著作物の使用を禁止しており、また応募作品は作者が単独で執筆・作成したものに限り、なお応募作品は原則として返却致しません。

②過去を通して入賞は一度限りとします。過去受賞者は入賞の可能性はありませんが応募は可能です。

※応募先：公益社団法人 沖縄県手をつなぐ育成会 担当：東江

那覇市首里石嶺町4-373-1(沖縄県総合福祉センター西棟321) TEL 098(882)5727



最優秀賞



最優秀賞(県知事賞)

令和3年度
県内入賞作品の
一部をご紹介します

期間限定

販売期間：5月29日～7月22日 長崎・島原名産 島原手延そうめん販売



沖縄県手をつなぐ育成会チャリティー実行委員会より、ご案内です。

沖縄は8月10日頃にお盆を迎えます。ご先祖様へのお供えや、日頃お世話になった方へのご進物に、美味しいと評判の高い「島原手延べそうめん」はいかがですか？皆様のご注文を心よりお待ちしております。

各市町村親の会、施設父母の会など、また直接沖縄県手をつなぐ育成会チャリティー実行委員会までお問い合わせください。※販売収益は県育成会へ寄付を行います。



商品名		小売価格	販売価格
島原の細糸	HS-40	4428円	2800円
	HS-30	3348円	2100円
島原小町	ES-33	3672円	2500円

♪連絡先♪
【沖縄県手をつなぐ育成会】
 那覇市首里石嶺町4-373-1
 県総合福祉センター内
 E-Mail oki-iku@woody.ocn.ne.jp
 TEL 098(882)5727
 FAX 098(882)5720

おすすぬ 運営資金調達事業ドリンク販売(通年販売)

チャリティー実行委員会よりご案内です。健康促進のためのドリンク販売を通して、知的に障がいのある人たちのための活動資金作りと、広く一般の人々に理解を深めてもらうことを目的として販売しております。是非この機会にお試し下さい☆
※販売収益は県育成会へ寄付を行います。

全5種類 各24個入 2,000円
 各12個入 1,000円



の感染者が相次ぎました。事業所の利用者ですが、はじめに母親が風邪をひき体調が悪くなり、障がいのある本人にうつって体調が悪くなった方がおられました。「発熱は無い為一日休みますが、明日は出勤するので送迎をお願い致します」、との連絡があり、翌日本人を迎え、2日間ほどは出勤して頂きました。

すると、その次の日から、生活介護の職員1人が家で発熱し、PCR検査で陽性、また別の職員はその次の日から発熱が有り検査で陽性でした。

他のB型事業所の職員も自主的に検査し、この職員3人は陰性でしたが、保健所から他の利用者も検査するよう依頼され、検査キットを預かり各家庭を訪問、検査し資料を保健所に提出することとなりました。保健所から各家庭へ電話問診をすると、感染経路が判明し、結局、1週間生活介護は閉鎖することとなりました。

ただ、PCR検査の方法は唾液を一定分量出さないといけないので、利用者にはなかなか難しいよう、結局綿棒での検査も行いました。

陽性者の体調として、利用者は無症状でしたが、職員は症状が辛かったとのことでした。

今回の事態を受けて、改めてコロナの怖さや、感染力の強さを思い知りました。



「コロナの怖さ」
 理事 下地 利恵子

コロナ対策をする生活が3年余り過ぎていますね。色々気を付けている毎日ですが、先日私の運営する法人でもコロナ

県育成会行事報告6月

- ☆6月6日(月) 県総合福祉センター 県事業所協議会監査
- ☆6月13日(月) WEB開催 県事業所協議会理事会①
- ☆6月27日(月) WEB開催 県事業所協議会令和4年度総会

県育成会行事予定7月・8月

- ☆7月1日(金) 県総合福祉センター チャリティーゴルフ大会委員会①



令和4年度賛助会員

敬称略

個人 田久保 康之(10口一万円)

賛助会員加入のお願い

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援を、お願い申し上げます。



- ☆賛助会員 1口 千円
- ☆企業・団体 1口 五千元
- ★琉球銀行 石嶺支店(普) 444100

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長・田中寛

沖縄県手をつなぐ育成会事務局

田中理事長のゆんたく広場

『ハイブリット』という言葉が、最近よく耳にします。「もともとはラテン語が語源で、イノシシと豚の交配である『インブタ』を意味していたが、動物の雑種という風に転じた」とは、インターネットの情報ですが、ガソリンで動くエンジンと、電気でも動くモーターの組み合わせのように、今では種類の異なるもの同士を組み合わせて、新しいものを作ることの意味合いとしても使われています。

複数の人や企業などの「協同作業」の意味合いがよく使用される「コラボレーション」とは、少し意味が異なるようですが、国語力の乏しい私などは紛らわしくも感じます。対面式の会場で行う集合体の大会イベントに加え、インターネットを経由した中継、さらにはその模様を録画した動画の配信など、コロナ禍の中で生まれた新しい形式として有効化され、今ではずいぶんと社会生活の中においても認知されるようになってきました。そのうちに我が家のカミさんから「今晩はハイブリット形式を取り入れ、家ではご飯のみを炊き、おかずは市販のものにします」などの切ない言葉も聞こえてくるかもしれません。しかし、もしかして、これって、ただの手抜きの言い訳かもしれませんね？(笑)

『手をつなぐ』配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。お申込みご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。年間購読料3,900円



お気軽にご相談下さい

沖縄県手をつなぐ育成会では、知的障がいに関するあらゆる相談をお受けできるよう相談員(砂川副理事長担当)を配置しております。日頃の「不安なこと」や「これはどうしたらいい?」という疑問を共に解決できるようにお手伝いを致します。秘密は厳守致します。★電話(882-5727)

令和4年度 沖縄県事業所協議会総会

6月27日(月)「令和4年度沖縄県事業所協議会総会」が、オンライン(ZOOM)にて行われました。

令和3年度の決算(監査報告)・事業報告・役員改選等について承認され、また令和4年度の予算・事業計画についても報告が行われました。役員改選については現理事・監事が引き続き努めて参りますので、何卒宜しくお願い致します。



オンライン総会の様子